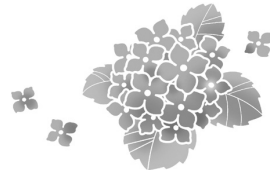


農業



令和5年6月号
会誌 No. 1704

目次

巻頭言

私たちの食べているイネはどのように成立したか?.....大杉 立 3

論壇

持続可能な地産地消の条件.....野見山敏雄 4

農業懇話会

農業分野のデータの連携・活用について.....上原 健一 6

農事功績者座談会

農地集積と機械化一貫体系による.....清都 和文 20
大規模チューリップ球根栽培

地域セミナー 栃木

わが人生—地域活動に育てられ.....広田茂十郎 35

食を楽しむ

ふるさとの食の宝を守り継いでいくこと.....持田 成子 38

研究の最前線

新たな評価手法を活用した事故事例に基づく.....青柳 悠也 39
農用車両事故の原因と対策技術
—事例調査とシミュレーターで解明—

農業・農村の現場から

宮城県農業高等学校における……………須田 和行・山根 正博 49
「#ZERO マイプラ」の取り組み

世界の農業は今

米国農業をむしばむ対立 人種, 政治, 農地……………山田 優 55

私の経営と志

水戸市北部でネギ中心の野菜・稲作経営……………園部 潤一 61
—持続可能な農業を目指して—

農家の気持ち

日本の農家の持つ栽培技術の価値を世界に伝えたい……………野口 憲一 63

統計情報

2021（令和3）年農業・食料関連産業の経済計算（概算）…………… 64

農政情報

…………… 65

大日本農会だより…………… 66

編集部から…………… 66

会誌『農業』に関するアンケート

表紙写真説明

徳島県「にし阿波地域」のソバ収穫作業 (徳島県つるぎ町)

徳島県にし阿波地域は、県西部の美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町で形成され、標高100～900mの山間地に200以上の集落が急峻な地形に張り付くように点在している。これらの集落は、ほとんどが斜度25度以上で、一般的に、耕作限界地とされるような、農業には不向きな場所であるが、本地域では、先人たちが生み出したさまざまな知識や工夫、そして独自の技術を400年以上にわたり継承してきたことが、国連食糧農業機関（FAO）に評価され、2018年3月に「にし阿波の傾斜地農耕システム」として世界農業遺産に認定された。

写真の、つるぎ町猿飼集落の畑では、毎年9月になると、真っ白なソバの花が傾斜畑一面に広がり、観光農園として一般開放している。その後、11月中旬頃からは、ソバの収穫が始まるが、最大斜度40度にもなる当傾斜畑では、その作業は全て手作業で行っている。

[写真および文：徳島剣山世界農業遺産推進協議会事務局（つるぎ町役場産業経済課）
藤本 将也]